



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 リム・キム・リン
(コード：9704 東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL. 03-3436-1860)

営業外損益の計上および平成 27 年 12 月期通期個別業績予想値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、下記のとおり営業外収益および営業外費用を計上いたしましたのでお知らせするとともに、平成 27 年 8 月 12 日に開示いたしました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）通期個別業績予想値と本日開示の平成 27 年 12 月期通期個別業績の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

(1) 事業税還付金

平成 27 年 9 月 4 日付「法人事業税の還付に関するお知らせ」および平成 27 年 10 月 23 日付「（開示事項の経過報告）法人事業税の還付に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、静岡県からの平成 22 年度から平成 26 年度までの法人事業税の更正決定による還付金 70 百万円を事業税還付金として営業外収益に計上いたしました結果、事業税還付金は平成 27 年 12 月期累計期間において、170 百万円となりました。

(2) 持分法による投資利益の減少

平成 27 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間において、豪州の当社持分法適用関連会社における、四半期純利益を当社の持分に応じて取り込んだ結果、持分法による投資利益 37 百万円を計上していましたが、その後、同社における損失計上により、持分法による投資利益は 5 百万円に減少いたしました。

2. 営業外費用（資金調達費用）の計上

宿泊事業およびその他投資事業におけるリファイナンス関連費用として、44 百万円を計上いたしました。

3. 業績に与える影響

上記の営業外収益および営業外費用につきましては、本日公表の「平成 27 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

平成 27 年 12 月期通期個別業績予想値と実績値との差異

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	130	80	△110	△ 0 円 40 銭
今回修正 (B)	111	110	△84	△ 0 円 31 銭
増 減 額 (B－A)	△19	30	26	
増 減 率 (%)	14.5	37.9	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期実績)	188	195	122	0 円 45 銭

差異の理由

通期連結業績予想数値は修正を要しなかったものの、平成 27 年 12 月期通期個別業績予想値と実績値との差異につきましては、売上高が平成 27 年下半期に発生した中国経済の先行き不安による現地通貨安および香港株式市場の株安の影響等を受け、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差損および評価損が発生し、111 百万円となりました。

経常利益は、営業外収益に平成 22 年度から平成 26 年度までに納付した法人事業税の課税標準額算定方法の変更により更正がなされ事業税還付金 170 百万円を計上したこと等による一方、営業外損失において当社の保有する豪ドル建て資産に係る為替差損 137 百万円を計上したこと等により、110 百万円となりました。

当期純利益につきましては、前述の経常利益の増加により前回予想を 26 百万円上回り 84 百万円の損失となりました。

以 上